

### 「水沢にもあった 1875 年製トロートン経緯儀望遠鏡」

4月26日(土曜日)、三鷹キャンパスに残された1号官舎の保存と活用WGのメンバーの一員として水沢 VERA 観測所を訪れた際、亀谷さんに水沢に残っている古い観測機器をいろいろ見せていただいた。水沢キャンパスの建物は三鷹キャンパスの建物と同じように耐震強度が不足しており、耐震強度増強工事が行われるとのことで一時疎開しなければならないそうだ。そのため古い観測器械、測定器械、資料、書類などの整理が行われている最中であり、また木村記念館も改装されるとのことで、木村記念館にあったものも本館に移され、その量は膨大であった。まずは、亀谷さんの部屋で「水沢地区展示品候補機器等調査中間報告(2007.4.27 広報委員会)」、「水沢地区展示物品2(木村記念館内展示品)2007.10.4」の二つのリストを見せてもらった。中間報告リストの中にぜひ見たいと思っていたプラン子午儀があり、第一の目的が果たせる事を喜んでいたら、その右の子午儀と書かれた写真は、なんとこのところ見慣れた TROUGHTON & SIMMS 経緯儀ではないか。亀谷さんに「これは子午儀ではなく経緯儀ですね」と伝え、はやる気持ちを抑えながら、それら保管されたものを見せてもらうため、最初に入った本館1階の部屋でさっそく驚くべきものを見た。それは全く存在を予想していなかった TROUGHTON & SIMMS の経緯儀望遠鏡があったのである。この望遠鏡はインターネットで入手した TROUGHTON & SIMMS の経緯儀望遠鏡の図にそっくりであった。まず、図1がインターネットで入手した図である。

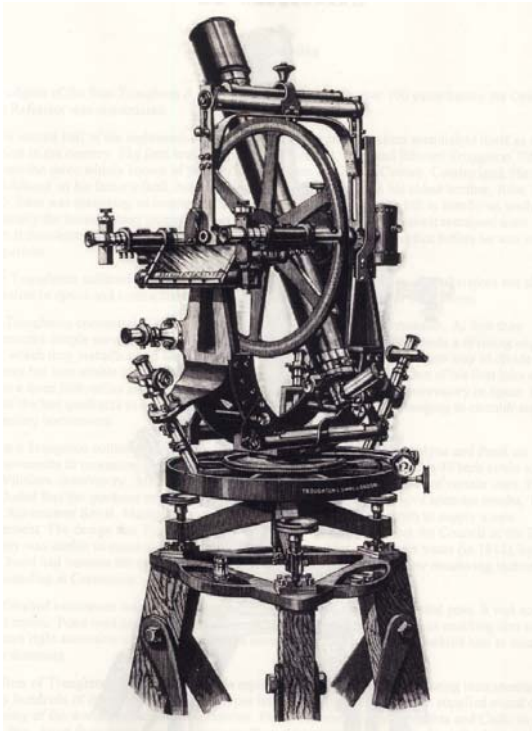


図 1



写真 1

写真1が水沢にあった TROUGHTON & SIMMS 経緯儀望遠鏡である。細部では違う部分もあるが、これは TROUGHTON & SIMMS 製に違いないと、架台のそれと思われるところを指で擦り、ほこりを払い磨くと刻印が出てきた。それには「TROUGHTON & SIMMS」(写真2)とあった。



写真 2

いろいろ見せていただいた後で亀谷さんの部屋で歓談していた際、三鷹の TROUGHTON & SIMMS 経緯儀望遠鏡にはセンターキューブに刻印があり年号も刻印されていたことを思い出し、もう一度、見に行き望遠鏡部を見たがそのような刻印が無い。架台部分をもう一度点検し、指で擦って磨くと TROUGHTON の反対側に「LONDON 1875」という刻印が出てきた。なんと三鷹で一時国立天文台最古の望遠鏡といわれた 1875 年製の TROUGHTON & SIMMS の経緯儀望遠鏡と同じ年に製作されたものではないか。写真 2 がその刻印である。



写真 3

写真 4 は三鷹で見つかった TROUGHTON & SIMMS 経緯儀望遠鏡、図 2 が天文台の歴史に詳しい在野の研究者からいただいたその望遠鏡の図である。

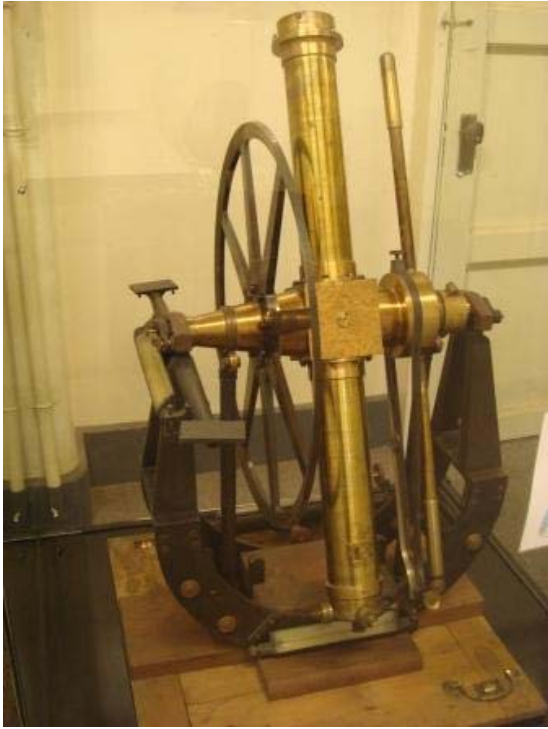


写真 4

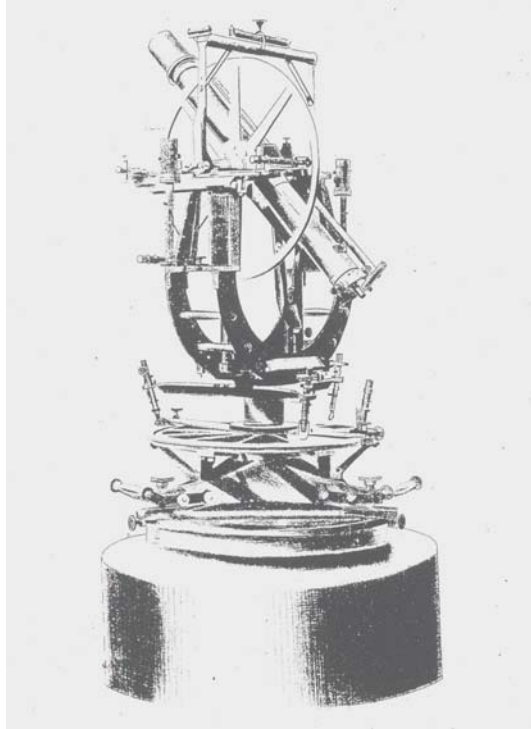


図 2

この望遠鏡のセンターキューブには写真5のような刻印がある。

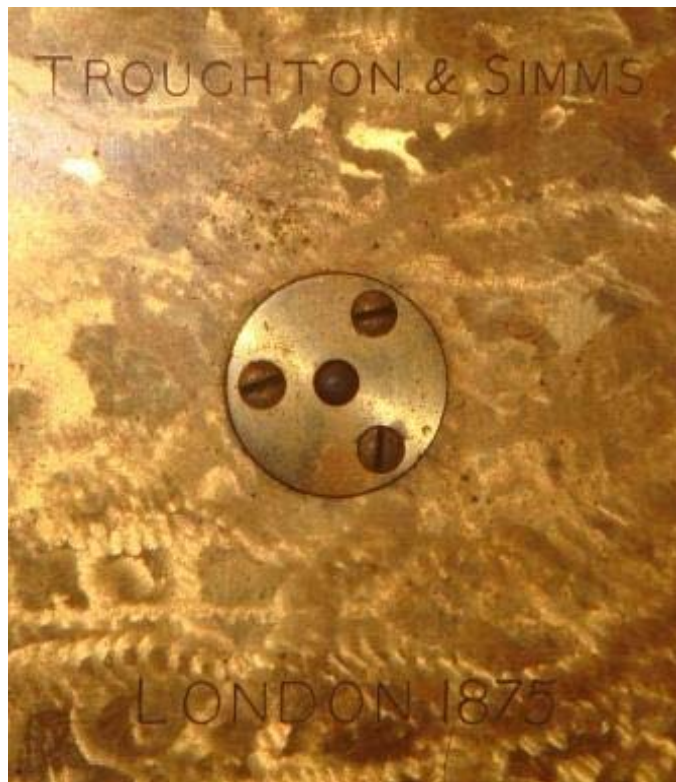


写真 5

三鷹の1875年製 TROUGHTON & SIMMS 経緯儀望遠鏡は、一時は国立天文台最古の望遠鏡といわれ、子午儀と思われて仮の架台に載せられていた。この望遠鏡が子午儀ではなく、経緯儀望遠鏡ではないかと知らせてくれたのが在野の天文学史に詳しい研究者であった。この望遠鏡は明治時代、まだ東京天文台発足以前に内務省地理局の日本国内各地の経緯度測量に使われたものであり、東京天文台発足時に東京天文台に移管されたものであった。そ



して水沢で同年代の同じ型式の経緯儀望遠鏡がもう 1 個見つかった。そして、三鷹には明らかにこれらより古く見える TROUGHTON & SIMMS 子午儀が発見されている。

水沢で発見された 1875 年製 TROUGHTON&SIMMS 経緯儀望遠鏡はほぼ完全な姿をとどめており、高度軸目盛環(写真6)、水平軸目盛環(写真7)もそろっており、それらの目盛を読む顕微鏡(写真6)も現存している。視野を照らすランタン(写真8)もある。



写真 6

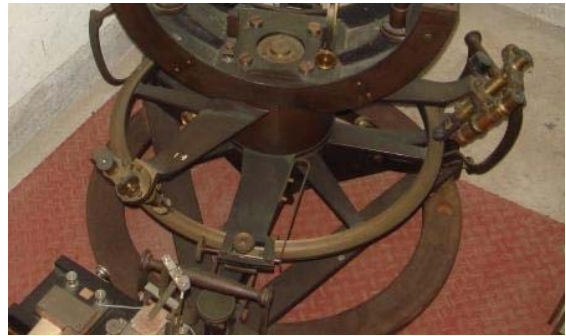


写真 7

三鷹の 1875 年製の TROUGHTON & SIMMS 経緯儀望遠鏡は、鏡筒単体で発見され、その後、高度軸架台が見つかり、内務省地理局時代の図面が見つかって、やっと元の姿を想像できるまでになっていた。しかし、方位軸架台は未だ発見されず、その復元は難しいが、水沢に兄弟器が存在していたので往時の姿が目に見えようである。



写真 8

今回の水沢への探検旅行はこの一事をもって大成功であったと思っている。お世話になった亀谷さんには厚くお礼を申し上げます。お世話になった亀谷さんには厚くお礼を申し上げます。お世話になった亀谷さんには厚くお礼を申し上げます。